

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦楽
----	------	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	5企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ こてんくわかん		団体ウェブサイトURL
	有限会社 古典空間		https://www.koten.co.jp
代表者職・氏名	代表取締役 小野木豊昭		
制作団体所在地	〒	151-0062	最寄り駅(バス停) 代々木上原駅
	東京都渋谷区元代々木町10-2 西俣ビル1F		
電話番号	03-5478-8255		
ふりがな 公演団体名	いっばんしゃだんほうじん ぎだゆうきょうかい		団体ウェブサイトURL
	一般社団法人 義太夫協会		http://www.gidayu.or.jp
代表者職・氏名	代表理事(会長) 児玉信		
公演団体所在地	〒	104-0045	最寄り駅(バス停) 東銀座駅
	東京都中央区築地4-3-12 秀和第2築地レジデンス706号		
制作団体 設立年月	平成10年 5月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役 小野木豊昭		制作スタッフ5名、舞台スタッフ1名 伝統芸能の普及・振興に寄与することを志す 25歳以上の男女
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	小野木豊昭
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	大貫信子
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	info@koten.co.jp		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>1990年 伝統芸能企画制作オフィス<古典空間>を設立。1998年 法人化。</p> <p><古典空間の思い> さまざまな日本の伝統芸能の公演をプロデュースし、皆様のもとへお届けすること。ステージと客席との間に見えない“火花”が散っている、そんな劇場・<舞台空間>を日本の伝統・<古典> 芸能でつくり出し、伝統文化をも基盤とする社会づくりを目指すこと。<古典空間>という社名にはそんな思いが込められています。</p> <p><主な業務内容> (伝承) (普及) (創造) 3点をコンセプトに、邦楽、話芸、日本舞踊など伝統芸能を専門に、以下の各種事業を展開している。 ・全国各地における自治体の文化事業及び公共ホール自主事業公演の企画・制作 ・伝統文化を基軸にした教育及び地域振興に関する講演、アドバイス、コーディネートなど ・全国各地における学校公演のコーディネート、企画・制作 ・外務省、各国大使館等主催による海外公演コーディネート、企画・制作 ・伝統芸能関連イベントのプロデュース、企画・制作、アーティスト派遣 など</p> <p><主な業務実績(学校公演以外)> ・2012年 東京都他主催<東京発・伝統WA 感動>より『三弦 海を越えて』『邦楽ワンダーBOX』等の企画・制作 ・2012年 東京スカイツリーオープニングイベントの制作 ・2013年～現在 アーツカウンシル東京他主催『神楽坂まち舞台・大江戸めぐり』の企画・制作 ・2014年～現在 (公財)名取市文化振興財団主催『名取寄席』の企画・制作 ・2015年～現在 (公財)徳島県文化振興財団主催『徳島邦楽ルネッサンス』諸公演の企画・制作 ・2018年 『劇場・音楽堂等 伝統芸能事業企画制作ハンドブック』文化庁委託事業として(公社)全国公立文化施設協会より刊行(代表・小野木豊昭ら編集委員) ・2020年～現在 かながわ伝統芸能実行委員会(神奈川県)主催「かながわ伝統文化こども歳時記」(神奈川県の伝統文化の紹介と体験事業) 企画・制作 ・2021年 東京都/(公財)東京都歴史文化財団 東京芸術劇場主催「芸劇サウンド・オアシス」(東京五輪関連事業) 企画・制作</p> <p>ほか、全国各地の継続を旨とした、伝統文化を基軸にする文化事業の企画・制作</p>				
<p>学校等における 公演実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●茨城県小美玉市学校アクティビティ事業、市内の幼稚園、小・中学校 巡演(2005年～2017年) 尺八/津軽三味線/和太鼓などによるレクチャー&デモンストレーションを合計150回以上実施 ●新潟県十日町市立南中学校邦楽観賞教室(2006年～2018年) 邦楽囃子(若獅子会)/胡弓/尺八/琵琶などの公演を毎年実施 ●東京都北区スクールコンサート(2012年～現在) 津軽三味線/和太鼓コンサートを合計50回以上実施 <p>他、これまで250校以上の公演実績あり。</p>				
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2017年「語ってみよう！義太夫節！」 茨城県立友部東特別支援学校 ・2018年「打てや、囃せや、邦楽囃子！」 山梨県立ふじざくら支援学校 東京都立青峰学園(特別支援学校) ・2019年「三味線ナビ♪～聴いて納得、観て楽しい、三味線ワールド～」 香川県立香川西部支援学校 ・2021年「打てや、囃せや、邦楽囃子！」 北海道鷹栖養護学校 ・2022年「語ってみよう！義太夫節！」 長野県長野盲学校 ・2023年「語ってみよう！義太夫節！」 茨城県結城特別支援学校 茨城県協和特別支援学校 				
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>			
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/tkSH3ewzIW0</p>			
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td>ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:
ID:					
PW:					

別添	あり
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人 義太夫協会】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○

企画名	語ってみよう！義太夫節！
-----	--------------

企画のねらい	<p>義太夫節は、日本の伝統芸能を代表する人形浄瑠璃や歌舞伎には不可欠な芸能であり、その“全身全霊”を駆使したダイナミックな表現こそ、伝統芸能の入口として相応しいと考えています。</p> <p>義太夫節が多くの人々に愛されてきた理由は、「物語を伝える芸能」として、会場の隅々まで届く大きな声を出す手法、老若男女を語り分け、喜怒哀楽を表現する様々なテクニックに満ちているからです。</p> <p>「こんな芸能が日本にもあったんだ！」という驚きと共に、義太夫節の表現を鑑賞し、実際に体験することで、子供たちの想像力を豊かにし、自分のカラを破り積極的に自己表現できるコミュニケーション能力の向上に繋がります。</p> <p>また数多くの型や様式が存在理由を知ること、先人が創り上げてきた日本の伝統文化の価値を体感できます。</p> <p>これからの日本の社会を創り支える児童・生徒に、希薄になりつつある日本文化へのアイデンティティを認識していただく絶好の機会となることでしょう。</p>
--------	--

演目概要・演目選択理由	<p>①義太夫節を聴いてみよう！『寿式三番叟』 古来から、おめでたい時や祈りの儀礼などで演奏されてきた義太夫節の名曲で幕を開けます。親しみやすい歌詞、スピード感と変化に富んだダイナミックなメロディーで、手拍子などでも参加でき、会場に一体感が生まれます。</p> <p>②義太夫節って何だろう？～その1 浄瑠璃(語り)と三味線の秘密 太夫(語り手)が驚く程の大きな声を出す秘訣や秘密の道具、また迫力満点の太棹三味線の素材・構造など、「浄瑠璃」と「三味線」について、楽しくわかり易く解説します。</p> <p>③義太夫節って何だろう？～その2 「校歌」が義太夫節に変身するコーナー まず訪問校の「校歌」を全校児童・生徒に歌っていただき、その歌詞を義太夫節の節(メロディー)に変身させてしまうコーナー。「これが私たちの校歌!?!」…義太夫節の魅力をさらに深堀りします。</p> <p>④ワークショップ体験・発表コーナー ワークショップから稽古してきた『菅原伝授手習鑑(すがわらでんじゅてならいかのみ)』より「車曳の段(くるまびきのだん)」(抜粋)を披露するコーナー。</p> <p>⑤全員体験コーナー 児童・生徒全員で、「大笑い」と「口上」を実践してもらおうコーナー。</p> <p>⑥義太夫節を楽しもう！『菅原伝授手習鑑』より「車曳の段」より 「仮名手本忠臣蔵(かなでほんちゆうしんぐら)」「義経千本桜(よしつねせんぼんざくら)」と並ぶ人形浄瑠璃 文楽や歌舞伎の三大作品の1つで、たびたび上演される古典の名作です。「大笑い」をはじめ、声の表現による圧倒的な迫力を体感できる場面が数多く含まれています。</p>
-------------	--

児童・生徒の参加又は体験の形態	<p>■全員による体験</p> <p>体験1 これぞ義太夫節…「大笑い」! マイクのなかった時代、芝居小屋(劇場)の後方にいるお客様にも物語を伝えるため、大胆にデフォルメされた表現が生まれ受け継がれてきました。『菅原伝授手習鑑』『車曳の段』に登場する、天下を狙う悪役の藤原時平、その圧倒的な存在感を示す誇張された笑いを、模範演技の後、体育館に集まった児童・生徒全員が思い切り大きな声で体験します。</p> <p>体験2 お客様に演目や出演者をお知らせする「口上」! これからどんな太夫(語り手)と三味線奏者が、「何という演目を演奏するのか」を、会場全体に知らせるための“アナウンス”が口上です。模範演技の後、児童・生徒全員が、スクリーンに投影された口上の文言を、息を合わせて大きな声で唱和し、プロの演奏家たちによる『菅原伝授手習鑑』『車曳の段』の幕を開けていただきます。</p> <p>■ワークショップ体験・発表 ワークショップで選ばれた10名の児童・生徒が、義太夫節の“ユニフォーム”である肩衣を着けて舞台上がり、稽古を重ねた『菅原伝授手習鑑』『車曳の段』(抜粋)を、プロの三味線演奏に乗って披露する成果発表コーナー。またセリフなどが書かれている「床本(台本)」は自ら作り、本番では見ながら語っていただきます。</p>
-----------------	--

児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	舞台共演10名・全員体験800名
		鑑賞人数目安	800名

本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>①義太夫節を聴いてみよう！ 古典曲『寿式三番叟』 自己紹介、演目紹介に続いて、歌詞や場面を描いたイラストを特設スクリーンに投影しつつ、照明で彩られた華やかな舞台で演奏します。</p> <p>②義太夫節って何だろう？～その1 浄瑠璃(語り)と三味線の秘密 <small>(※別添にて補足アリ)</small> 太夫(語り手)が使用する道具類、三味線の素材・構造などを、カメラで撮影しつつスクリーンに大きく投影し、児童・生徒にも理解できる言葉と角度から、楽しく分かりやすく解説します。</p> <p>③義太夫節って何だろう？～その2 「校歌」が義太夫節に変身するコーナー 義太夫節の三味線音楽としての魅力を、訪問校の「校歌」を義太夫節に“編曲”することで体感していただきます。</p> <p>④ワークショップ体験・発表コーナー <small>(※別添にて補足アリ)</small> ワークショップ時より稽古してきた本格的な義太夫節の抜粋を、プロによる「口上」と三味線演奏と共に披露していただきます。終了後は代表の児童・生徒に感想を述べてもらいます。</p> <p>⑤全身体験コーナー <small>(※別添にて補足アリ)</small> 演奏家が客席側の児童・生徒の中に入りながら「大笑い」と「口上」を指導します。演奏家を身近に感じながら、全員が一体となって笑った後、スクリーンに投影された口上のセリフを唱和し、舞台進行のお手伝いをしてもらいます。</p> <p>⑥義太夫節を楽しもう！ 古典曲『菅原伝授手習鑑』より「車曳の段」より 物語の理解が深まるよう、登場人物をイラスト化し、関係性をチャート化してスクリーンに投影しつつ楽しく説明します。児童・生徒全員の口上により演奏の幕を開けていただきます。</p>					
	公演時間 80 分					
出演者	<p>「一般社団法人 義太夫協会」より、今回は以下のメンバーより6名が出演予定。</p> <p>太夫: 竹本越京、竹本京之助、竹本寿々女、竹本越里 三味線: 鶴澤三寿々、鶴澤賀寿、鶴澤弥々、鶴澤朔弥</p> <p>※一般社団法人 義太夫協会とは…義太夫節の伝承、向上発展と普及を目的とし1970年(昭和45年)に設立。 竹本駒之助・鶴澤津賀寿という二人の「人間国宝」を擁し、毎回多くの義太夫節愛好者に支持されている毎月の定期演奏会のほか、様々な演奏会などで幅広く活躍中。特に、若手演奏家の育成、普及公演への情熱は高く評価されています。</p>					
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 <small>※3名程度</small> <small>※3行程度/名</small>	<p>竹本越京 早稲田大学第一文学部演劇学科中退。1977年 手ほどきを受ける。1989年 義太夫協会新人奨励賞。同年、文楽の豊竹咲太夫(後に人間国宝)に師事。1995年 因協会奨励賞。2003年 第一回「京の会」開催。2009年 重要無形文化財(義太夫節)総合指定保持認定。NHK古典芸能鑑賞会、義太夫協会演奏会、因協会演奏会、NHK「邦楽廻り舞台」「邦楽のひとつとき」などに出演。</p> <p>竹本京之助 舞台女優活動中に人間国宝・竹本駒之助の義太夫節に出会い、2004年 竹本駒之助に入門。2015年 義太夫協会新人奨励賞受賞。定例公演「女流義太夫演奏会」、若手演奏会等に出演。その他、文化庁「文化芸術による子供育成総合事業(学校巡回事業)」や、(公財)東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京主催の普及公演に数多く参加。</p> <p>鶴澤三寿々 東京藝術大学大学院音楽研究科(音楽学)修了。1991年 竹本駒之助(現在の人間国宝)に入門。2000年 義太夫協会新人奨励賞受賞。2006年度清栄会奨励賞受賞。2018年 重要無形文化財(義太夫節)総合指定保持認定。女流義太夫初の素浄瑠璃海外公演(フランス)実施。東京藝術大学音楽学部非常勤助手、慶應義塾中等部講師を歴任。現在東京音楽大学、常葉大学、常葉大学短期大学部講師。</p>					
本公演 従事予定者数 <small>(1公演あたり)</small> <small>※ドライバー等</small> 訪問する業者人数含む	出演者: 6 名 スタッフ: 10 名 <hr/> 合計: 16 名	運搬		積載量: 2 t 車長: 6 m 台数: 3 台		
本公演 会場設営の所要時間 <small>(タイムスケジュール)</small> の目安	前日仕込み		前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9:00	9:30～12:00	13:00～14:20	10分	14:30～16:00	16時00分
<small>※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。</small>						
本公演 実施可能日数目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認 します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月	7月	8月	9月		
	5日	15日	0日	15日		
	10月	11月	12月	1月		
	15日	10日	10日	10日		
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計	80日	



全体俯瞰図



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)



音響や舞台設備



照明や音響で演出された舞台

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



イラストや演奏家の手元などが映し出される大型スクリーン



出演者控スペース

著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 一般社団法人 義太夫協会 】

<p>ワークショップの ねらい</p>	<p>義太夫節＝全身全霊…表現術の宝庫！ ■歌舞伎や文楽など人形浄瑠璃の舞台上で描かれる物語には、老若男女、士農工商、善人悪人…実にさまざまな人物が登場します。また、マイクや照明のなかった江戸時代、登場人物の喜怒哀楽の感情を客席の隅々まで伝えるために、想像を超える大きな声や一見大げさとも言えるデフォルメされた表現が必要でした。</p> <p>■そのために物語の語り手である太夫は、単なるナレーターに止まることなく、大きな声を出すためのさまざまな工夫をし、さらに全身全霊をかけて客席と向き合ってきました。その結果、演技術やセリフ術の宝庫と言われるようになりました。その優れた表現術を学ぶために義太夫節を稽古する俳優や声優もいるほどです。</p> <p>大きな声を出すことで！ ■「静かにしなさい！」と学校や家庭で叱られることはありませんか？ ところが義太夫節では、大きな声を“出せば出すほど”褒められるのです！ 恥ずかしがらずに思い切り声を出す解放感。そして、人間の飾らない本来の心＝喜怒哀楽を表現する楽しさを体感していただきます。</p> <p>■「大きな声、明瞭な声で相手に思いを伝える」ことは日常生活におけるコミュニケーションの基本と言えましょう。このワークショップによって「心の垣根」は取り払われ、子どもたちの自己表現力とコミュニケーション能力の向上につながることを請け合います。</p> <p>体育館や教室の空気(雰囲気)が一気に変わる！ ■体育館や教室に集合した児童・生徒全員には… まず義太夫節の「笑い」の表現を体験していただきます。始めは消極的で控え目な子どもたちも太夫(語り手)の模範演技に導かれ、気が付くと“はじけるような笑顔”に変わります。今まで訪問したどの小・中学校でも会場は、大きな笑い声と楽しい空気に包まれました。</p> <p>■成果発表を目指す10名の児童・生徒には… 全員の「笑い」体験の後は、本公演の舞台上でのプロの義太夫節演奏家との共演に向けて、10名の児童・生徒が、本公演でも上演される義太夫節の名曲『菅原伝授手習鑑(すがわらでんじゅてならいかがみ)』『車曳の段(くるまびきのだん)』の一部をお稽古します。</p> <p>義太夫節の特徴である老若男女や全人悪人の語り分けを実践しますが、短い時間(約45分)ながら、毎回子どもたちの驚異的な習得度に驚かされます。本番での成果発表後、友達の健闘を称える客席からの大きな拍手に対して、一言インタビューでは、大きな声で表現することの楽しさと併せて、10人で力を合わせて「江戸時代の言葉や表現」に取り組んだ連帯感や達成感が語られています。</p> <p>ワークショップ終了時から本公演まで、楽しく無理なく自主稽古ができるように、「稽古用映像」もお渡しします。また、義太夫節独特の台本である「床本」づくりを通して、伝統芸能の「型」の背景にある知恵や、生み出した先人の心など、日本文化の素晴らしさもお伝えすることを目指します。</p> <p>ワークショップでは、本公演を楽しむための第一ステップとなる情報提供、そして期待感の醸成を目指します。</p>		
<p>児童・生徒の 参加可能人数</p>	<p>ワークショップ</p>	<p>参加人数目安</p>	<p>100名</p>
	<p>【時間】2時限分＝前半「全身体験」／後半「共演を目指す児童・生徒の稽古」 【会場】体育館ほか 【対象】中学生、小学生は高学年の児童 【人数】学年またはクラス単位 ※上記の実施形態は、適宜ご相談可能です。</p> <p>ワークショップを体験した児童・生徒は、本番時、全校の皆さんに向けての“最強のメッセンジャー”として出演者をサポートします！</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

■全身体験

①義太夫節「浄瑠璃(語り)」の解説

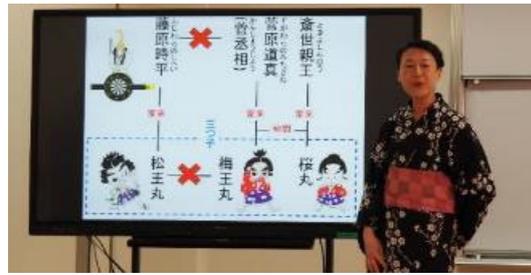
義太夫節ならではの「語り」の特徴や、「太夫(語り手)」について説明の後、物語の登場人物(老若男女、殿様、子ども、悪者など)の語り分けを実演します。また、大きな声を出すための道具である「見台」や「腹帯」、見やすく大きな字で書かれた太夫の台本「床本」なども紹介します。

- ※1…太夫が丹田(身体の中心)に力を込めるのを補助する道具で、驚くのはその長さ！これを何重にもお腹に巻きつけて語ります。
- ※2…太夫は本を見ながら語りますが、とても大きく太く堂々とした字で書かれています。大きな声を出すための心理的な仕掛けなのです。



②「義太夫三味線」と、本番で上演する演目『菅原伝授手習鑑』の紹介

義太夫節の三味線は、旋律を弾くだけでなく、物語の情景や人物の心情などを、太夫と共に“語る”ように演奏するのが特徴で、他ジャンルの三味線音楽と大きく異なる点です。その実演と説明の後、上演する物語の登場人物の相関図、あらすじを説明するイラストを特設簡易スクリーンに投影しながら分かりやすく紹介します。



③義太夫節の表現術…「笑い」を紹介します！

義太夫節の「笑い」は、初めて触れる人でも、そのエネルギーと表現の面白さや豊かさを実感できます。ここでは2つの笑いを紹介します。

- ・世話物…「笑い薬」の一場面
知らぬ間に笑いの止まらなくなる薬を盛られてしまった男が、制御できない笑いと格闘する滑稽な場面。短い語りですが、太夫の圧倒的な表現力に思わず吹き出すこと間違いありません。
- ・時代物…「菅原伝授手習鑑」義太夫節のなかでも特に有名な藤原時平の“大笑い”を実演します。想像を絶する笑い方を受けとめていただきます。

④義太夫節の「笑い」をやってみよう！

“メーターの針が振り切れてしまいそうな”大きな声で笑うための姿勢や呼吸の方法を伝授した後、全員で「大笑い」を実践します。



キャラクターを表すイラストを投影



ワークショップ
実施形態及び内容

⑤『菅原伝授手習鑑』「車曳の段」(抜粋)を聴いてみよう！

全身体験の仕上げとして、『菅原伝授手習鑑』「車曳の段」の本格的な演奏を聴いていただきます。
ここまで体験してきた義太夫節の魅力を再認識していただきます。

■成果発表を目指す10名に向けての体験

①本番で使用する「床本」作成

後半、本番でのプロとの共演に参加する児童・生徒のためのワークショップでは、
まず「床本」作りを体験していただきます。簡易的なもので、どなたでも容易に作れるよう、
素材は総てご用意し、作り方は丁寧に指導します。

・ご用意いただくもの：長机4脚程度



本や道具の大切さも
体感できます

②本公演本番に向けてのお稽古

『菅原伝授手習鑑』「車曳の段」より、トータル2分程度ではありますが、
さまざまな表現が詰まった迫力満点の場面の「語り」に取り組んでいただきます。
作成した本番用「床本」と併せて、文字を活字化した読みやすいテキストシートなどを用いて、
言葉の意味や物語の情景などを具体的に説明しながらの反復稽古を行います。
終了後には、「稽古用映像」を用いたお稽古の仕方、本番までの課題や取り組みへの姿勢なども
お伝えします。

・ご用意いただくもの：体操用マット7～8枚(お稽古は正座で行うため)



その他ワークショップに
関する特記事項等

ワークショップ後には、本公演までの練習用に「お稽古DVD」をお渡しいたします(各学校1枚)。

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 一般社団法人 義太夫協会】

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

①本事業に対する取り組み姿勢

【今なぜ伝統芸能か？】

日本文化の色彩が薄まりゆく現代、次世代を担う若い世代が「日本文化へのアイデンティティ」を感じる機会が少なくなりつつあります。伝統とは「過去に人間がつくり出したすばらしい表現や作品で、時代や文化が異なっても、受けとめた人々の胸に響き、明日を生きるエネルギーとなり得るもの」と解釈できます。だからこそ、今、伝統文化を若い世代にお伝えすることに大きな意義を感じています。

【なぜ義太夫節？】

日本の伝統芸能を代表する文楽と歌舞伎、そして全国各地に波及した人形浄瑠璃や地芝居(農村歌舞伎)では、「義太夫節」が必ず演奏されます。義太夫節は、数ある三味線音楽の中でも「音曲の司」(三味線音楽の王者)と言われ、日本文化の基盤となった芸能の1つと言っても決して過言ではありません。



今から300年前の元禄時代、近松門左衛門が描いた物語を三味線に乗ってドラマチックに語ったのが竹本義太夫でした。その表現は多くの人々の心を捉え、絶大な人気を誇った事から「義太夫節」として今に受け継がれています。太棹三味線の重厚で豊かな響き、そして全身全霊で「語る」太夫の声の力と表現力は圧倒的で、脳裏に情景が浮かんでくる…つまり思い切り想像力が刺激されるのです。だからこそ若い世代には、時代を超えて日本人々の心を驚掴みにしてきた義太夫節に、是非出逢っていただきたいのです。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

■初めて参加する学校の皆さま

- ・初動の段階では電話及びメールによる基本情報の共有、続いて「リモート会議」による具体的情報のすり合わせ[学校サイドの要望などのヒアリング、当方よりの希望提示、双方の課題共有]を行います。ワークショップ及び本公演までのスケジュールやプロセスを明確にします。
- ・ご担当の先生が学校内での共有を図り易くするために、上記項目を具体的に整理した資料を作成します。
- ・学校の施設規模、動線、付帯設備、電源関係、水回り等、施設の状況を把握します。専門スタッフからのフィードバックをもとに安全かつ効率的な実施を心がけます。
- ・随時、学校からのご要望やご提案を受け入れ、学校ごとの個別の状況に対応できるオーダーメイドな制作体制で臨みます。
- ・この巡回公演事業の枠組みの中で、現在まで数多くの学校公演を実施してまいりました。その蓄積に基づき、学校関係の皆さまが少しでも安心して準備に取り組めるよう、積極的にサポートいたします。

■過去に実施実績がある学校の皆さま

- ・「初めて参加する学校」と同様、初動の段階から丁寧なヒアリング、コミュニケーションを心掛け、過去に実施した公演を上回る成果を目指します。前回公演から現在までの経緯、地域文化のリサーチ、音楽・国語・社会などの授業内容との関連なども、ワークショップや本公演に反映できるよう努めます。

義太夫節って何だろう？

語りと三味線で
物語をドラマティックに伝える芸能
義太夫節！

子どもたちの脳裏に絵を描く！



豊かな想像力を育みます

じょうり 浄瑠璃とは

歴史上の人物や世の中のでき事、恋愛のお話などさまざまな「物語」を三味線の演奏にのせて「語る」芸能です。

浄瑠璃には様々な種類がありますが、その中でも代表的なものが義太夫節です！

義太夫節とは

江戸時代（五代将軍・徳川綱吉の頃）
※大坂の竹本義太夫という人が
作り上げた浄瑠璃が大人気だったため
その名をとって「義太夫節」となりました。

※江戸時代は「大坂」、現在では「大阪」と書きます

項目内容

本公演演目
②の補足



全国に波及、爆発的人気を博しました。

また明治以降、殊に女性による義太夫節は、その芸と美貌で日本中を興奮の渦に巻き込み、日本のアイドル文化の"走り"となりました。今も使われている「追っかけ」という言葉もルーツはこの「娘義太夫」にあります。何ヶ所もの公演会場を掛け持ちで廻り、人力車で移動するお目当ての女性演者の後を熱心なファンが追いかけたのが由来です。
現在のアイドルたちをはるかに凌ぐ人気があったのです。

たゆう
太夫



三味線



「太夫」といわれる語り手が、一見大げさにも思えるダイナミックな表現で老若男女…殿様、子供、悪者など、一人で何人もの登場人物を語り分け、場面や情景を描き出します。

義太夫節では、「太棹」と呼ばれる一番大きな三味線を使います。
力強い低音から優しく哀愁に満ちた音色まで、旋律を奏でるだけでなく、場面に応じた様々な音と奏法により、太夫と一体となって情景や登場人物の気持ちを奏でます。

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

No.2

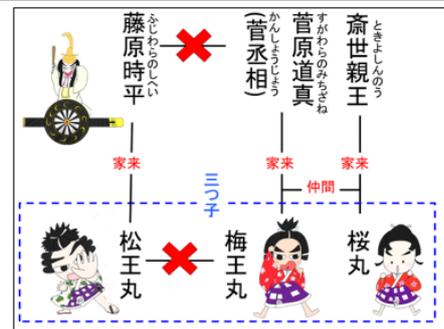
【公演団体名

一般社団法人 義太夫協会

】

初めてでも楽しめるように、
イラストや人物相関図を
使って分かりやすく視覚化！

物語の内容をイラストの投影によって視覚化
します。漢字や難しい言葉を知らない低学年
の児童でも、飽きることなく、楽しみながら
舞台を鑑賞できます。



ワークショップ体験発表コーナー

本物の肩衣を着けて、大きな声で
お稽古の成果を披露します！！



ワークショップの時から稽古してきた

『菅原伝授手習鑑』より「車曳の段」(抜粋)の成果を見せるハレ舞台です。

義太夫節の“ユニフォーム”である肩衣を着けて

自分で作った「床本 (ゆかほん)」を見ながらの発表です。

代表者一丸となって、失敗を恐れず勇気を出して語っていただきます！

客席側の児童・生徒には

ステージの友だちを応援するための〈かけ声〉をレクチャーします。



～礼にはじまり礼に終わる～



～発表後には発表した皆さんに
感想をお聞きます～

項目内容

本公演演目
②,④の補足

全員体験コーナー

義太夫節の「大笑い」！

義太夫節の表現の中で最もダイナミックな表現です。
どんな会場でも盛り上がりは最高潮を迎えます！

“驚くような大きな声”を出す秘訣を伝授します。
学芸会や合唱祭などで、必ずや役立てていただけるでしょう。



全員で「口上」体験！！

義太夫節の「口上」で、出演者と演目を紹介していただきます。
演目と出演者を知らせるだけのただのアナウンスではなく
独特の言いまわしで、これから始まる演奏の期待感を盛り上げます。
児童・生徒の皆さんに最後の演目「車曳の段」の
幕を開けてもらいます！



項目内容

本公演演目
⑤の補足